

# nord piano 3

V I R T U A L H A M M E R A C T I O N T E C H N O L O G Y

## ユーザー・マニュアル

Nord Piano 3

OS Version: 1.x

# 安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

マークについて

製品には下記のマークが表示されています。

**WARNING:**  
TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK DO NOT EXPOSE THIS PRODUCT TO RAIN OR MOISTURE.



マークには次のような意味があります。



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルであり、取扱説明書などに一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

## 火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘記号は、禁止（してはいけないこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	●記号は、強制（必ず行うこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

## 警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

- 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接続する。アース接続を外す場合は、電源プラグをコンセントから取り外してから行う。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。感電やショートのおそれがあります。
- 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。
- 次のような場合には、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。
  - 電源コードやプラグが破損したとき
  - 異物が内部に入ったとき
  - 製品に異常や故障が生じたとき

- ⊘ 本製品を分解したり改造したりしない。
- ⊘ 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。

- 電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、電源コードの上に重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）を入れない。
- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）で使用や保管はしない。
- 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ホコリの多い場所で使用や保管はしない。



● 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。



● 雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。

● 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。

● 本製品に液体をこぼさない。



● 濡れた手で本製品を使用しない。

## 注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります



- 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- 電源コードをコンセントから抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。



● 本製品を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。電源スイッチをオフにしても、製品は完全に電源から切断されていません。



● 付属の電源コードは他の電気機器で使用しない。付属の電源コードは本製品専用です。他の機器では使用できません。

● 他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線しない。本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。

● スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。

故障の原因になります。

● 外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーを使用しない。

● 不安定な場所に置かない。

本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

● 本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。

本製品が落下または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

● 本製品の隙間に指などを入れない。

お客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

● 地震時は本製品に近づかない。

● 本製品に前後方向から無理な力を加えない。

本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

## データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがあります。データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。データを他のメディア等へセーブすることのできる製品では、大切なデータはこまめにセーブすることをお勧めします。

# 1. はじめに

## THANK YOU!

この度はNord Piano 3をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。Nord Piano 3は、使いやすさやポータブル性を損なうことなく、ステージキーボードとしてまったく妥協のないピアノ演奏を体験できることを実現するために開発しました。トリプル・センサー方式キーボードと独自のバーチャル・ハンマー・アクション・テクノロジーを組み合わせ、これまでにないレベルのリアリズムや様々なピアノ演奏テクニックをそのまま表現できる高いコントロール性を実現しました。精緻にサンプリングされたピアノやキーボードのコレクションであり、続々と拡大を続けている無償のNord Pianoライブラリーに対応したNord Piano 3を末永くお使いいただければと思います。

## 目次

1. はじめに.....	3	5. メニュー.....	15
THANK YOU!.....	3	SYSTEMメニュー.....	15
2. オーバービュー.....	4	MIDIメニュー.....	15
フロントパネル.....	4	SOUNDメニュー.....	15
NORDユーザー・インターフェイスについて.....	4	PEDALメニュー.....	15
[SHIFT]ボタン.....	4	6. NORD SOUND MANAGER.....	16
セレクトター・ボタン.....	4	動作環境.....	16
オン/オフ&ソース・ボタン.....	5	インストールする.....	16
長押しで操作する機能.....	5	オーバービュー.....	16
ノブ.....	5	プログラムやサンプルをダウンロードする.....	17
ダイヤル.....	5	ピアノ・サウンドをダウンロードする.....	17
バリュー・モディファイアー.....	5	サンプル・シンセ用サンプルをダウンロードする.....	17
キーボード.....	5	サウンドやサンプルを削除する.....	17
連打性とキー・ストローク.....	5	サウンドやサンプルを入れ替える.....	17
グラウンド・ウェイテッド・アクション.....	5	オーガナイズ機能.....	17
3. 使い始める.....	6	プログラムをアップロードする.....	18
プログラム・セクション.....	6	サウンド・アップとサウンド・ダウン.....	18
プログラムについて.....	6	バンドル・アップロードとバンドル・ダウン.....	18
キーボード・スプリット.....	6	フル・バックアップとレストア.....	18
トランスポーズ.....	6	付録 I: 接続する.....	19
モノ.....	6	オーディオの接続.....	19
パニック.....	7	[HEADPHONES]ジャック.....	19
プログラムを保存する、リネームする.....	7	[LEFT OUT]、[RIGHT OUT]ジャック.....	19
ライブ・モード.....	7	[MONITOR IN]ジャック.....	19
リスト/オーガナイズ機能.....	8	MIDIの接続.....	19
ピアノ・セクション.....	8	[MIDI IN]コネクター.....	19
キーボード・タッチ.....	8	[MIDI OUT]コネクター.....	19
ペダル.....	8	USBの接続.....	19
オクターブ・アップ、オクターブ・ダウン.....	8	ペダルの接続.....	19
アコースティックス.....	8	[SUSTAIN PEDAL]ジャック.....	19
NORD TRIPLE PEDAL.....	9	[VOL/CTRL PEDAL]ジャック.....	19
NORD PIANOライブラリー：サイズ別比較表.....	9	付録 II: MIDIコントローラー・リスト.....	20
リスト/オーガナイズ機能.....	9	インデックス.....	21
サンプル・シンセ.....	10	仕様.....	22
ダイナミクス.....	10		
ペダル.....	10		
オクターブ・アップ、オクターブ・ダウン.....	10		
アタック、ディケイ/リリース&サステイン.....	10		
リスト/オーガナイズ機能.....	11		
エフェクト.....	11		
エフェクト1.....	11		
エフェクト2.....	11		
ディレイ.....	12		
イコライザー.....	12		
アンプ/コンプレッサー.....	12		
リバーブ.....	12		
4. MIDI.....	13		
MIDIインプリメンテーションについて.....	13		
MIDIメッセージ.....	13		
MIDIとトランスポーズについて.....	13		
Nord Piano 3とシーケンサーについて.....	14		

## 2. オーバービュー



### フロントパネル

Nord Piano 3は、ほとんどすべての機能に簡単にアクセスでき、あらゆるピアノ・プレイヤーにとって完璧で使いやすいように設計しました。ここからは、各パネル・セクションの機能を簡単にご紹介します。各機能の詳細は後述します。

Nord Piano 3のフロントパネルには4つのセクションがあります。いちばん左側にあるのが**プログラム・セクション** ①です。このセクションでメモリーされているプログラムを一覧したり、新規やエディットしたプログラムの保存、マスター・ボリュームの調節、各種メニューへのアクセスやキーボード・スプリットやトランスポーズの設定が行えます。このセクションには大型ディスプレイもあり、パネル上での各種操作に反応して設定や調節などが簡単に行なえます。このセクションの詳細につきましては、6ページをご参照ください。

次にあるのが**ピアノ・セクション** ②で、ピアノ・サウンド・エンジンのオン/オフや、ピアノ・サウンドの一覧や選択、キーボードのレスポンスの調節や、その他ピアノ・サウンドに関わる各種パラメーターの調節が行えます。このセクションの詳細につきましては、8ページをご参照ください。

その右隣は**サンプル・シンセ・セクション** ③です。サンプル・シンセのオン/オフや、サンプルの一覧や選択、選択したサンプルの調整などが行えます。サンプル・シンセの詳細につきましては、10ページをご参照ください。

サンプル・シンセの右にあるのは**エフェクト・セクション** ④で、6種類のエフェクト・ユニットがあります。ユニットごとにオン/オフができ、エフェクトをピアノまたはサンプル・シンセのどちらかにかけることができます。このセクションの右端のユニットはリバースで、ピアノとサンプル・シンセ両方に常にかかります。エフェクト・セクションの各ユニットの詳細につきましては、11ページからのエフェクト・チャプターをご参照ください。

❶ 本機のリアパネルには、オーディオや電源、データ関係やペダルの接続端子があります。接続について分からないことがありましたら、19ページの付録をご覧になり、正しく安全に接続してください。

### NORDユーザー・インターフェイスについて

私たちClaviaでは、ユーザー・インターフェイスについて、ライブ・ステージであろうとレコーディング・スタジオだろうと、自宅であろうとも、すぐに音色などの調節ができ、ストレートで分かりやすいものであるべきで、その点が重要だと考えています。そのことを念頭に、本機の各種コントロール類の音色に関わる各種パラメーターにはすぐにアクセスでき、可能な限りその情報を表示するように設計しました。

ここからは、本機のフロントパネルにある各種コントロール類について説明します：

#### {SHIFT} ボタン

ボタンなどのコントロール類の多くには「もう1つの」機能があり、その機能名はボタンやノブ、ダイヤルの下にプリントされています。これらの機能には**{SHIFT}** ボタンを押しながらそのコントロール類を操作することでアクセスできます。また、{SHIFT} ボタンは各種メニューやリストから抜ける時**{EXIT}**や、プログラムの保存を中止する時にも使用します。

#### セレクター・ボタン

セレクター・ボタンは、選択できる機能などが複数ある中から1つを選ぶ時に使用します。選択すると、その機能などにある丸や三角のLEDが点灯します。このボタンを繰り返し押しすと、機能などが順次切り替わります。



## オン/オフ&ソース・ボタン

〔ON/OFF〕ボタンはNord Piano 3のピアノやサンプル・シンセ、6種類のエフェクト・ユニットのそれぞれの使用する/しないを選択する時に使用します。また、〔SHIFT〕ボタンを押しながら各エフェクト・ユニットのオン/オフ・ボタンを押すと、そのボタンは〔SOURCE〕ボタンとして機能し、エフェクトのソース(ピアノまたはシンセ)選択ができます。

☞ 〔SOURCE〕ボタンを素早くダブルタップすると、ピアノまたはシンセのソース選択機能へのショートカットになります。



## 長押しで操作する機能

ボタンに「▼」マークがあるものは、長押しで操作する機能です。そのようなボタンを長押しすると、そのボタンの機能に関連したパラメーターの設定がディスプレイに表示され、〔PROG/MENU〕ダイヤルで設定を変更できます。ボタンを放すとすぐにディスプレイの表示が消えます。

Nord Piano 3での長押しで操作する機能には**トランスポーズ**とディレイの**テンポ**(ディレイ・タイム)があります。



## ノブ

ほとんどの音色パラメーターの値はノブで調節します。これらのノブには始点と終点があり、その範囲でパラメーターの値を調節できます。プログラムを呼び出した時、ノブの物理的な位置(向いている方向)と、そのパラメーターの値とが一致しないことがあります。そのノブを回すとパラメーターの値がその位置をすぐにキャッチしてパラメーターの値が変化します。また、ノブを回した時にそのパラメーターがディスプレイにも表示されます。

☞ 〔SHIFT〕ボタンを押しながらノブを回すと、そのパラメーターの値を変更させることなく確認することができます。



## ダイヤル

Nord Piano 3にはロータリー・エンコーダーのダイヤルが3つあります。〔PROG/MENU〕ダイヤルはプログラムの選択や各種メニューの機能選択と設定値の変更をする時に使用します。〔PIANO SELECT〕ダイヤルはピアノ・サウンドの選択に、〔SAMPLE SELECT〕ダイヤルはサンプルの選択に使用します。ピアノ・サウンドとサンプル・シンセのサンプル名はディスプレイの下部に表示されます。〔SHIFT〕ボタンを押しながらこれら3つのダイヤルの1つを回すと、回したダイヤルの**リスト/オーガナイズ**・モード(プログラム、ピアノ、またはサンプル・シンセ)に入ります。

## バリュー・モディファイアー

バリュー・モディファイアーは、〔PROG/MENU〕ダイヤルと一緒に使用し、各種メニューの設定変更や、プログラムをリネームする時の文字選択に使用します。また、リスト・モードに入っている場合には**オーガナイズ**機能にアクセスする時にも使用します。この場合、ダイヤルで各リスト内のプログラム、ピアノ、またはサンプルに移動することができます。バリュー・モディファイアーを使用している場合、LEDが黄色に点灯します。



## キーボード

Nord独自のバーチャル・ハンマー・アクション・テクノロジーは、グランドピアノの鍵盤アクション機構をシミュレートしたもので、これまでにないピアノらしさやダイナミックなレスポンスが得られる機能です。3つのセンサーを使用し、鍵盤の動きを正確に検知することが可能になり、ピアノ演奏の各種テクニックを存分に表現することができます。これにより、あらゆるペロシティ・レベルでよりダイナミックな演奏に対応できるキーボードに仕上がりました。

## 連打性とキー・ストローク

Nord Piano 3は、鍵盤が上死点に戻っていない状態でも同じ音を連打することができます。これにより前の音を完全に切ることなく連打やトリル、レガート奏法をよりスムーズに演奏することができ、グランドピアノ同様の滑らかな演奏ができます。また、鍵盤を押し込んだ状態から素早く連打する奏法や、キー・ストロークのトップから一気に強いペロシティで演奏するなど様々なピアノ奏法が行えるのも、バーチャル・ハンマー・アクション・テクノロジーならではの機能です。

## グランド・ウェイテッド・アクション

Nord Piano 3は、重いタッチのグランド・ウェイテッド・アクション鍵盤を搭載し、よりグランドピアノらしいタッチとこれまで以上にダイナミックなコントロールが可能になりました。

❶ Nord Piano 3のキーボードは、全音域でフラットなレスポンスが得られるようにNordファクトリーで1台ごとに細かな調整と動作テストをしています。

## 3. 使い始める

### プログラム・セクション

#### プログラムについて

Nord Piano 3にメモリーされているプログラムは、それぞれにピアノやサンプル・シンセ・セクションの全セッティングの他に、全エフェクトのすべてのセッティングが含まれています。キーボード・スプリットやトランスポーズ、モノ・モードのオン/オフ設定もプログラムの一部としてメモリーされます。

プログラムを選択すると、プログラム名とバンクを表す文字(A~D)、プログラムの番号がディスプレイのそれぞれのコラムに表示されます。ディスプレイの下半分のエリアには、ピアノ、サンプル・シンセ・エンジンのアイコンが表示されます。そのアイコンの右には、選択したプログラムで使用しているピアノ・サウンドまたはサンプル(もしくは両方)の名前が表示されます。プログラムをエディットすると、プログラム番号の右にアスタリスク(\*)が表示されます。プログラムをエディットして、保存しないまま別のプログラムを選択すると、エディットした内容が消去されてしまいますのでご注意ください。



プログラムのバンクにはA、B、C、Dの4つがあります。各バンクには50種類のプログラムがメモリーでき、合計200種類のプログラムをメモリーできます。各バンク内のプログラムは5つのグループに分けられ、プログラム・セクション下部にある5つのプログラム・ボタンで選択できます。プログラムの選択は、**(PROG)**ダイヤルを回すか、5つのプログラム・ボタンのいずれかを押しで選択します。

☛ Nord Piano 3のファクトリー・バンク(工場出荷時バンク)には、同じタイプのプログラムをグルーピングして各プログラム・ボタン(1~5)に割り当てられています。例えば、スプリットやレイヤー機能を使用していないグランドピアノのプログラムはプログラム・ボタン1から選択できます。また、プログラム・ボタンを押しながら**(PROG/MENU)**ダイヤルを回すと、そのプログラム・ボタンにグルーピングされているプログラムを素早く選択できます。

Nord Piano 3がMIDIメッセージを受信すると、**(MIDI)**LEDが点灯します。

#### メモリー・プロテクト

Nord Piano 3の工場出荷時には、メモリー・プロテクト機能がオンに設定され、ファクトリー・プログラム(工場出荷時プログラム)が誤って消去されないようになっています。また、この機能がオンの場合は、オーガナイズ機能も使用できません。メモリー・プロテクト機能をオフにするには、**システム**・メニューに入り、「Memory Protection」をオフにします。詳しくは、15ページのメニュー・チャプターをご参照ください。



#### キーボード・スプリット

**キーボード・スプリット**(KBD SPLIT)機能を使用すると、キーボードを2つのパートに分割できます。「**SYNT/PNO**」LEDが点灯している場合、サンプル・シンセは左手側のパートに、ピアノは右手側のパートに割り当てられ、「**PNO/SYNT**」LEDが点灯している場合はその逆になります。「**SET SPLIT**」ボタンを繰り返し押しすると、スプリット・ポイントが7段階から選択できます(C3、F3、C4、F4、C5、F5、C6)。キーボードのすぐ上にある緑のLEDは、その時のスプリット・ポイントの位置を表示します。また、スプリット・ポイントは**(SET SPLIT)**ボタンを押しながら**(PROG/MENU)**ダイヤルを回して設定することもできます。

#### トランスポーズ

**トランスポーズ**(TRANSPOSE)機能は、**(TRANSPOSE)**ボタンを1回押しとオンになり、プログラムごとに最大±6半音の範囲でキーボードをトランスポーズ(移調)させることができます。「**(TRANSPOSE)**」ボタンを押しながら**(PROG/MENU)**ダイヤルを回してトランスポーズを設定します。

❶ システム・メニューには「Global Transpose」機能もあります。このグローバルトランスポーズ機能は、各プログラムで設定されているトランスポーズの設定に関係なく、全プログラムに適用されるトランスポーズです。

#### モノ

**モノ**(MONO)機能は、選択したプログラムをモノラルで出力する機能で、ピアノとサンプル・シンセ、それらで使用しているエフェクトに適用されます。モノ機能がオンの場合、リアパネルのアウトプット(LEFTとRIGHT)は、まったく同じ音を出します。



## パニック

〔PANIC〕ボタンを押すと、その時に発音していたすべての音が停止します。この機能は、外部から入力したMIDIメッセージで音が止まらなくなった場合や、ライブなどの状況で演奏中のすべての音を一齐に停止させたい場合などに便利です。



## プログラムを保存する、リネームする

エディットしたプログラムを、その時に選択しているプログラムに上書き保存する方法と、別の場所に保存する方法は次の通りです：

- ① 〔STORE〕ボタンを押して「STORE PROGRAM TO」画面に入ります。この時、保存するプログラムの場所(番号)とその名前がディスプレイに表示されます。
- ② 上書き保存しない場合、〔PROG/MENU〕ダイヤルを回すか、5つのプログラム・ボタンを押してプログラム・バンク内の好きな場所を選択できます。
- ③ 〔STORE〕ボタンをもう1度押すと、保存を実行します。この時、ディスプレイにポップアップ・テキストが表示され、プログラムが正常に保存されたことを表示します。

保存を中止したい場合は、〔EXIT〕ボタンを押します。この時、ディスプレイに「Store aborted!」(保存を中止しました!)のメッセージが表示され、エディットした内容は保存されません。

### STORE AS... (別名で保存)

エディットしたプログラムを、別の名前で別の場所に保存する手順は次の通りです：

- ① 〔STORE AS...〕ボタン(〔SHIFT〕+〔STORE])を押して「STORE PROGRAM AS」画面に入ります。この時、プログラム名の最初の文字がハイライト表示になります。
- ② 〔VALUE〕ボタンを長押しすると、アルファベットと数字の列が表示されます。
- ③ 〔PROG/MENU〕ダイヤルを回して、入力したい文字をハイライト表示させます。
- ④ 〔VALUE〕ボタンを放すとハイライト表示させた文字が入力され、次の文字にカーソルが移動します。また、ダイヤルを回して文字を修正したい位置にカーソルを動かすこともできます。
- ⑤ 〔Del〕(デリート)ソフト・キーを押すと、選択していた文字が消去され、〔Ins〕(インサート)はカーソルの位置にスペースを挿入します。〔ABC/abc〕で大文字と小文字を切り替えます。
- ⑥ 上記の操作を繰り返して新たなプログラム名を入力します。入力完了後、〔STORE〕ボタンを押して「STORE PROGRAM TO」画面に入ります。この画面で〔PROG/MENU〕ダイヤルを回すか、プログラム・ボタンを押して保存したい場所に保存します。

## ライブ・モード

Nord Piano 3には、アクセスが簡単なライブ・プログラムがあり、通常のプログラムとは異なり、エディットした内容が自動的に保存されます。ライブ・プログラムから抜けたり、本機の電源をオフにすると、それまでのエディット内容が保存されます。手動による保存操作は不要です。ライブ・プログラムを選択するには、〔LIVE MODE〕ボタンを押し、プログラム・エリアの1~5のボタンを押します。

ライブ・モードに入っている場合、ディスプレイにはその時に選択しているライブ・プログラム1~5のいずれかが表示されます。また、ディスプレイの下半分にはピアノとサンプル・シンセのアイコンと、そのライブ・プログラムで使用しているピアノ・サウンド、サンプル名が表示されます。

### ライブ・プログラムの登録方法

ライブ・モードのプログラムは、通常のプログラムに保存することもできます。手順は次の通りです：

- ① 〔STORE〕ボタンを押します。別名で保存したい場合は〔STORE AS...〕ボタンをおします。
- ② 〔STORE AS...〕を押した場合は、新たなプログラム名を入力し、〔STORE〕ボタンを押します。
- ③ 〔LIVE MODE〕ボタンを押して、ライブ・モードから抜けます。
- ④ 〔PROG/MENU〕ダイヤルを回して保存したい場所を選択し、〔STORE〕ボタンを押して保存を実行します。

同様に、通常のプログラムをライブ・プログラムに登録することも可能です。手順は次の通りです：

- ① ライブ・プログラムに登録したいプログラムを選び、〔STORE〕ボタンを押します。
- ② 〔LIVE MODE〕ボタンを押し、続いて1~5のライブ・プログラム・ボタンのいずれかを押します。
- ③ 選択したライブ・プログラムの番号で良ければ、〔STORE〕ボタンを押して登録を実行します。





## リスト/オーガナイズ機能

**リスト**機能は、プログラム・バンクの内容を一覧できる便利なリスト表示機能です。オーガナイズ機能を使うと、プログラムを同一バンク内または別のバンクの場所に移動させることができます。

- ① **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[PROG/MENU]** ダイアルを回してリスト・モードに入ります。この時、ディスプレイにはプログラムがリスト表示されます。ダイアルを回すとスクロールできます。
- ② **[VALUE]** ボタンを長押しすると **オーガナイズ**・モードに入り、プログラムを別の場所に移動させることができます。2つの三角マーク(▲と▼)は、ダイアルで移動できる方向を表示します。
- ③ **[VALUE]** ボタンを放すと選択した場所にプログラムが移動します。
- ④ **[EXIT]** ボタンを押すと **リスト/オーガナイズ**・モードから抜けます。

## ピアノ・セクション

Nord Piano 3の心臓部はやはりピアノ・セクションです。**[ON]** ボタンでセクションのオン/オフを切り替えができます。ピアノ・セクションを使用しているプログラムを選択すると、使用しているピアノ・サウンド名がディスプレイの下半分に表示されます。ピアノ・セクションの音量調節は **[LEVEL]** ノブで行います。

**[PIANO SELECT]** ダイアルは、ピアノ・サウンドを選択する時に使用します。ピアノ・サウンドはGrand、Upright、EP1、EP2、Clavinet、Harpsichordの6カテゴリーに分類されています。その時に選択しているピアノ・サウンドのカテゴリーは、ダイアルの上にあるLEDに表示されます。選択したピアノ・サウンドの情報は、**[INFO]** ボタンを長押しすると表示されます。



## キーボード・タッチ

Nord Pianoライブラリーに収録されている各ピアノ・サウンドは、ダイナミックレンジを非常に広く取っており、そのダイナミックレスポンスは、好みや演奏スタイルに応じて調節することができます。

**[KBD TOUCH]** ボタンを押して、ダイナミックレスポンスを3段階で調節できます。「1」の場合が最もダイナミックレンジが広い状態で、「2」「3」とレベルが上がるにつれてより弱いタッチで演奏しても大きな音(ペロシティの強い音)で演奏できます。

## ペダル

**[PEDALS]** ボタンは、本機に接続した **サステイン**・ペダル、**ボリューム**・ペダルのどちらか(または両方)、その時に選択しているピアノ・サウンドをコントロールできるかを設定できます。設定は **[PEDALS]** ボタンを繰り返し押しで行います。どちらか片方のペダルのみ、両方のペダルを使用する、または両方のペダルを使用しない、のいずれかの設定ができます。

❶ 本機に対応したペダルの種類や機種につきましては、15ページのペダル・メニューをご参照ください。

## オクターブ・アップ、オクターブ・ダウン

**[OCTAVE UP]**、**[OCTAVE DOWN]** ボタンを使用すると、ピアノ・セクションのピッチがオクターブ単位でトランスポートできます。トランスポート可能な幅は、キーボード・スプリット機能のオン/オフ状況で変化しますが、各サウンドで設定されている発音可能な全音域を演奏できます。

## アコースティックス

**アコースティックス** (ACOUSTICS) セクションには、ピアノ・サウンドの音響的な特徴をエディットすることで、よりリアルなピアノ演奏を楽しめる機能が入っています。このセクションの各機能は、ピアノ・サウンドのタイプやサイズ(容量)、バージョンによって使用できない場合があり、各機能に対応していないピアノ・サウンドでは、このセクションの各機能は使用できませんのでご注意ください。

## ストリング・レゾナンス

**ストリング・レゾナンス** (STRING RES)は、アコースティック・ピアノのダンパーが外れて弦が開放状態になっている時に、演奏した鍵盤の音程にその他の音程の弦が共鳴する現象をシミュレートし、より豊かなサウンドになる機能です。また、ペダルを踏んだ時にもアンビエンスが発生します。弦が共鳴する音量は、サウンド・メニューで設定できます。詳しくは15ページをご参照ください。

❶ ピアノ・サウンドのサイズ別によるストリング・レゾナンスの対応関係をまとめた「Nord Pianoライブラリー：サイズ別比較表」を次ページに掲載しましたのでご参照ください。

### ソフト・リリース

**ソフト・リリース**(SOFT RELEASE)機能は、アコースティック、エレクトリック・ピアノのサウンドにわずかな音量のリリース部分を付ける機能です。これにより、演奏する各音の鳴り終わりの部分がやや滑らかになり、レガート奏法時に効果的です。

### ペダル・ノイズ

**ペダル・ノイズ**(PEDAL NOISE)機能は、アコースティック・ピアノのサステイン・ペダルの機構から発生するメカニカル・ノイズを再現できる機能です(この機能を使用するには、Nord Triple Pedalが必要になります)。ノイズの音量はサステイン・ペダルを踏み込む強さで変化します。また、ペダル・ノイズのレベルはサウンド・メニューで調節できます。詳しくは15ページをご参照ください。

## NORD TRIPLE PEDAL

ペダル・ノイズ機能の他に、Nord Triple Pedalには次のような機能があります：

### ハーフ・ペダリング

Nord Triple Pedalのサステイン・ペダルは、ハーフ・ペダリングに対応しています。ハーフ・ペダリングは、ピアノのダンパーが完全に上がって(または下りて)いない状態で演奏するテクニックで、これによりややダンパーがかかったサウンドで演奏できます。

### ソステヌート

Nord Triple Pedalのセンター・ペダルはデフォルト設定はソステヌート・ペダルとして使用できます。ソステヌートは、キーボードを弾いた瞬間にこのペダルを踏むと、その音のみにサステインがかかり、その他の音にはサステインがかからないというものです。また、センター・ペダルはサンプル・シンセ用のサステイン・ペダルまたはラッチ・ペダルとしても使用できます。これらの機能につきましては、15ページのペダル・メニューをご参照ください。

### ソフト・ペダル

左のペダルはソフト・ペダル、別名ウナ・コルダです。このペダルを踏むと、すべての音がやや音量が下がり、同時にややソフトな音色になります。

## NORD PIANOライブラリー：サイズ別比較表

Nordウェブサイト([www.nordkeyboards.com](http://www.nordkeyboards.com))のNord Piano Libraryセクションには豊富なピアノ・サウンドがあり、無償でダウンロードできます。ピアノ・サウンドには4種類のサイズ(容量)があり、サイズによってキー・マッピングの数やストリング・レゾナンス機能への対応などに違いがあります。Nord Piano 3のピアノ・サウンド用メモリー容量は最大で1GBです。

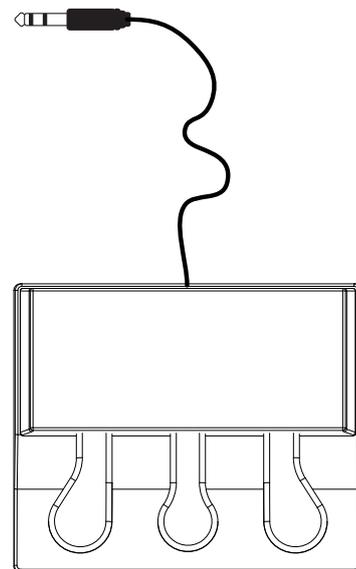
	S	M	L	XL
ステレオ・サンプリング	✓	✓	✓	✓
多段階ベロシティ・マッピング	✓	✓	✓	✓
ストリング・レゾナンス(中音域のみ)		✓		
ストリング・レゾナンス(全音域)			✓	✓
フル・マッピング・キーボード				✓

❶ ピアノ・サウンドやサンプルをNord Piano 3に転送する方法等につきましては、16ページ以降のNord Sound Managerチャプターをご覧ください。

### リスト/オーガナイズ機能

ピアノ・サウンドのリストをディスプレイに表示させたり、保存されているピアノ・サウンドの順番を変更する際には、**リスト/オーガナイズ**(LIST/ORGANIZE)機能を使用します：

- ① **[SHIFT]** ボタンを押しながら**[PIANO SELECT]** ダイヤルを回して**リスト**・モードに入り、ディスプレイにはピアノ・サウンドのリストが表示されます。ダイヤルでリストをスクロールできます。
- ② **[VALUE]** ボタンを長押しすると**オーガナイズ**・モードに入り、選択したピアノ・サウンドを別の位置へ移動させることができます。上下の三角マークは、ダイヤルを回してリスト内を移動できる方向(上または下)を示します。なお、ピアノ・サウンドはそれぞれのカテゴリーを越えて移動させることはできませんのでご注意ください。
- ③ **[VALUE]** ボタンを放すと、ダイヤルで選択した位置にピアノ・サウンドが移動します。移動させたいピアノ・サウンドが複数ある場合は、ステップ2を繰り返し行います。**[EXIT]** ボタンを押すと**リスト/オーガナイズ**・モードから抜けます。



## サンプル・シンセ

サンプル・シンセはNord Piano 3のピアノ・セクションと並ぶパワフルなパートの1つで、ストリングスやブラス、アナログ・シンセなどのサウンドを演奏できます。サンプル・シンセ単体での使用の他に、ピアノとのレイヤーやスプリットによる演奏もできます。[**SAMPLE SELECT**]ダイアルで、サンプル・シンセ・サウンドのブラウズや選択が行えます。[**ON**]ボタンでこのセクションのオン/オフができ、[**LEVEL**]ノブでこのセクションの音量を調節できます。

サンプルをスクロールしている間、ディスプレイの下部にはその時選択したサンプル名が表示されます。また、Nord Piano 3本体に内蔵以外のサンプルは、Nordウェブサイトからダウンロードすることができ、オリジナル・サンプルの作成は、NordウェブサイトからダウンロードできるNord Sample Editorで行えます。[**INFO**]ボタンを押すと選択したサンプルの容量やバージョン番号などの情報がディスプレイに表示されます。Nord Piano 3のサンプル・シンセ用メモリー容量は最大256MBです。

❶ サンプルをコンピュータから本機にダウンロード(転送)する方法につきましては、16ページからのNord Sound Managerチャプターをご参照ください。



### ダイナミクス

**ダイナミクス(DYNAMICS)**機能は、キーボードを弾くタッチの強弱で音量や音色に変化を付けられる機能です。オフの場合(LEDがすべて消えている場合は)、タッチ(ペロシティ)の強弱による変化は付かず、サンプルは常にほぼフル・ペロシティで演奏されます。「**AMP**」LEDが点灯している場合は、ペロシティの強弱でサンプルの音量が変化します。

「**FILTER**」LEDが点灯している場合は、ペロシティの強弱でローパス・フィルターの設定が変化し、弱く弾くとソフトな音色、強く弾くとブライトな音色になります。「**AMP**」「**FILTER**」両方のLEDが点灯している場合は、ペロシティの強弱で音量と音色の両方が変化します。

### ペダル

[**PEDALS**]ボタンを押すと、サンプル・シンセ・サウンドで**サステイン・ペダル**や**ボリューム・ペダル**を使用するかどうかを設定できます。[**PEDALS**]ボタンを繰り返し押し、どちらかのペダルを使用可能にする、または両方を使用可能に、あるいは両方とも使用しない設定に切り替えられます。

❶ 本機に対応しているペダルにつきましては、15ページをご参照ください。

### オクターブ・アップ、オクターブ・ダウン

[**OCTAVE UP**]、[**OCTAVE DOWN**]ボタンは、サンプル・シンセ・セクションの音程をオクターブ単位でトランスポーズさせたい時に使用します。トランスポーズ可能な幅は、キーボード・スプリット機能のオン/オフにより変化しますが、各サウンドで設定されている発音可能な全音域を演奏できます。

### アタック、ディケイ/リリース&サステイン

サンプル・シンセ・サウンドの鳴り始めや鳴り終わりの形を2つのエンベロープ・コントロール・ノブで調節できます。

#### アタック

[**ATTACK**]ノブで、サンプルのレベルが最大になるまでの時間を調節します。ノブが最小の位置の場合、サンプルは弾いた瞬間に最大レベルに達します。ノブを時計回りに回していくと、最大レベルに到達するまでの時間が長くなっていきます。

#### ディケイ/リリース&サステイン

[**DECAY/RELEASE & SUSTAIN**]ノブには3種類の動作モードがあります：

- ❶ ノブの向きが時計の12時の位置よりも左側にある場合はディケイ・モードで動作し、鍵盤から手を放す前に音量がフェイド・アウトします。
- ❷ ノブの向きが12時の位置の場合はサステイン・モードで動作します。この場合、ほとんどのサンプルは鍵盤を押している間は常に音が出て、鍵盤から手を放すと音が瞬時に止まります。
- ❸ ノブの向きが12時の位置よりも右側にある場合はリリース・モードで動作します。この場合、鍵盤から手を放してもサンプルは一定時間余韻が付きます。余韻の長さはこのノブで調節できます。

☞ 他のノブやボタンなどと同様、ノブの向きからその時にどのモードで動作しているかが類推できますが、ノブを回すとそのパラメーターの値がディスプレイに表示されます。

## リスト/オーガナイズ機能

サンプル・シンセのサンプル・リストをディスプレイに表示させたり、保存されているサンプルの順番を変更する際には、**リスト/オーガナイズ**(LIST/ORGANIZE)機能を使用します：

- ① **[SHIFT]** ボタンを押しながら**[SAMPLE SELECT]**ダイヤルを回して**リスト・モード**に入ると、ディスプレイにはサンプルのリストが表示されます。ダイヤルでリストをスクロールできます。
- ② **[VALUE]** ボタンを長押しすると**オーガナイズ・モード**に入り、選択したサンプルを別の位置へ移動させることができます。上下の三角マークは、ダイヤルを回してリスト内を移動できる方向(上または下)を示します。
- ③ **[VALUE]** ボタンを放すと、ダイヤルで選択した位置にサンプルが移動します。移動させたいサンプルが複数ある場合は、ステップ2を繰り返し行います。**[EXIT]** ボタンを押すと**リスト/オーガナイズ・モード**から抜けます。



## エフェクト

エフェクト・セクションには、ピアノまたはサンプル・シンセ・セクションに使用できる4つのエフェクト・ユニット、ピアノまたはサンプル・シンセ(あるいは両方)に使用できるイコライザー、ピアノとサンプル・シンセ両方にかかるリバーブがあります。リバーブを除く全エフェクト・ユニットには**[SOURCE]** ボタンがあり、「PIANO」、「SYNTH」または「なし」(LED全消灯)に切り替えることができます。「なし」の場合はそのエフェクト・ユニットはバイパスされます。

- ❶ 各エフェクトの接続順は基本的にパネル上の並びと同じ(左から右へ)ですが、一部例外があります。例えば、エフェクト1のPan(オート・パン)は使いやすさを考慮してスピーカー/コンプレッサーの後ろに接続されます。

### エフェクト1

エフェクト1にはトレモロ、パン、ワウ、リング・モジュレーターが入っています。**[RATE]** ノブで各エフェクトの周期を調節します。ワウの場合はピーク・レゾナント・フィルターの周波数を調節します。

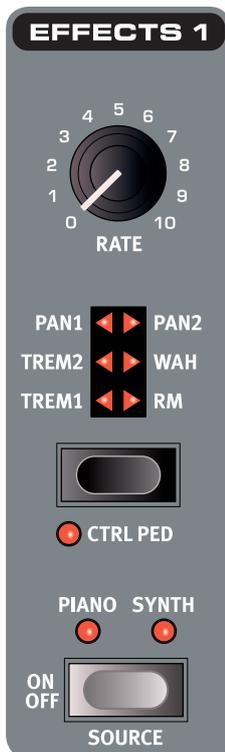
**TREM**(トレモロ)は、音量を周期的に上下させるエフェクトです。音量変化の深さは3段階で選択でき、周期は0~10の間で調節できます。

**PAN**(パン)は、音像の定位を左右間で周期的に変化させるエフェクトです。左右に移動する幅は3段階で選択でき、周期は0~10.5Hzの間で調節できます。

**WAH**(ワウ)はレゾナンスの上ったローパス・フィルターで、フィルターの周波数を**[RATE]** ノブで調節できます(0~10)。また、このエフェクトはソースの音量変化に反応し、音量が大きいとフィルター周波数が上がります。

**RM**はリング・モジュレーターです。**[RATE]** ノブが低い設定の場合、トレモロのような音色になります。ノブを上げていくと徐々に不協成分が増えていき、金属的な音色になります。**[RATE]** ノブの変幅は0~10です。

**[CTRL PED]** ボタンを押すと、これらのエフェクトをコントロール・ペダル(エクスペッション・ペダル)でコントロールすることができます。トレモロとパンの場合、ペダルでエフェクトの深さをコントロールでき、リング・モジュレーターの場合は、**[RATE]** ノブのコントロールをペダルで行えます。ワウの場合はワウ・ペダルと同様に、ワウのフィルター周波数をペダルでコントロールできます。



### エフェクト2

エフェクト2には2種類のフェイザー、フランジャー、2種類のコーラス、ビブラートのモジュレーション系エフェクトが入っています。各エフェクトの周期は**[RATE]** ノブで調節できます。

**PHASER**(フェイザー)は、ソースの位相が周期的に変化するエフェクトで、2タイプを選べます。周期は0~10.5Hzの間で調節できます。

**FLANGER**(フランジャー)は金属的でアクの強いサウンドになるエフェクトです。周期は0~10.5Hzの間で調節できます。

**CHORUS**(コーラス)は広がり感のあるサウンドにできるエフェクトで、極端なセッティングにするとチューニングが少し狂ったようなサウンドにもなります。2種類のタイプがあり、「2」のほうがより厚みのあるサウンドになります。周期は0~2.7Hzの間で調節できます。

**VIBE**(ビブラート)は、ソースの音程と位相を周期的に変化させるエフェクトです。周期は0~10.5Hzの間で調節できます。

エフェクト2には**[DEEP]** ボタンがあり、これを押すとエフェクトがより深くかかるディープ・モードになります。





## ディレイ

ディレイ・エフェクトにはドライ(原音)とウェット(エフェクト音)のミックス・ノブ、4段階のフィードバック・ボタン、テンポ・ボタンがあります。

〔TEMPO〕ボタンを数回タップすると、その間隔(BPM)がディレイ・タイムになり、ディスプレイに表示されます。また、〔TEMPO〕ボタンを押しながら〔PROG/MENU〕ダイヤルを回してディレイ・タイムを設定することもできます。ディレイ・タイムは、20～750msの間で調節できます。

〔FEEDBACK〕ボタンのLEDが全消灯(オフ)の場合、フィードバックがかからず、ディレイ音は1回のみになります。フィードバック・ボタンを押すごとにLEDが1つずつ点灯していき、ディレイの繰り返し回数が増え、「3」の状態非常に長いフィードバックになります。〔DRY/WET〕ノブで原音とディレイ音のバランスを調節できます。

## イコライザー

**BASS**、**TREBLE**が固定周波数、**MIDI**は〔FREQ〕ノブで中心周波数を調節できる3バンド・イコライザー(EQ)です。

ベースとトレブルの周波数はそれぞれ100Hz、4kHzです。ミッドは200Hz～8kHzの間で変えます。各バンドとも、ブースト/カット量は15dBです。

 EQはピアノとサンプル・シンセ両方に同時に使用できます。この場合、両方のLEDが点灯します。

## アンプ/コンプレッサー

アンプ/コンプレッサー・セクションには、3種類の定番アンプ/キャビネットをモデリングしたもの(**SMALL**、**JC**、**TWIN**)が入っています。

また、真空管の歪みをシミュレートした**DIST**(チューブ・ディストーション)と**COMP**(コンプレッサー)も入っています。コンプレッサーは入力音のダイナミックレンジを圧縮して、ヌケの良い音にしたり、高めの設定にして迫力のある音にする時に使用します。

〔DRIVE/COMP〕ノブでチューブ・ディストーションやアンプ・モデルのオーバードライブ量を調節します。**COMP**モード時はコンプレッション量を調節できます。

## リバーブ

**REVERB**セクションはピアノ、サンプル・シンセ両方と、それぞれのエフェクトにかかるグローバル・ルーム・シミュレーターです。

**ROOM**、**STAGE**、**HALL**のアルゴリズムがあり、空間タイプやリバーブ音の長さや密度がそれぞれ異なります。〔BRIGHT〕ボタンをオンにすると、リバーブ音が明るいキャラクターになります。

〔DRY/WET〕ノブで原音とリバーブ音のバランスを調節できます。

## 4. MIDI

### MIDIインプリメンテーションについて

Nord Piano 3には5ピンのMIDIインとMIDIアウト端子があり、MIDI-USB機能もサポートしています。本機から送信されるMIDIメッセージはすべて自動的にMIDIアウトとUSBポートに同時に送られます。また、MIDIの送受信チャンネルはチャンネル・グローバル設定(Channel Global)で設定します。

#### MIDIメッセージ

Nord Piano 3は、ノート・オン、ノート・オフ・メッセージをベロシティ情報込みで送受信します。また、コントロール・チェンジやプログラム・チェンジ・メッセージの送受信も行います。

#### コントロール・チェンジ

フロントパネルのほとんどのコントロール類(ノブやボタン)は、コントロール・チェンジ・メッセージ(CC)の送信(と受信)に対応しています。パネル上の操作をMIDIシーケンサーやDAWなどにレコーディングして自動化するのに便利です。各パラメーターとCCナンバーとの対応表は、20ページをご参照ください。また、本機のCCメッセージの送受信オン/オフ設定はMIDIメニューで行います(15ページをご参照ください)。

フロントパネルのコントロール類以外に関連するCCメッセージは、MIDIメニューの設定に関係なく常に送受信します。それらのコントローラーとそのCCナンバーは、次の表の通りです：

コントローラー	Nord Triple Pedalのポジション	CCナンバー
サステイン	右	64
ソステヌート	センター	66
ソフト(ウナ・コルダ)	左	67
ボリューム(コントロール・ペダル)	—	11

#### プログラム・チェンジ

プログラム・チェンジ・メッセージを「送信」(Send)に設定すると、Nord Piano 3でプログラムを選択した時にプログラム・チェンジ・メッセージが送信されます。「受信」(Receive)に設定すると、グローバルMIDIチャンネルで受信したプログラム・チェンジ・メッセージに反応して本機のプログラムが切り替わります。プログラム・チェンジの送受信設定はMIDIメニューで行います(15ページをご参照ください)。

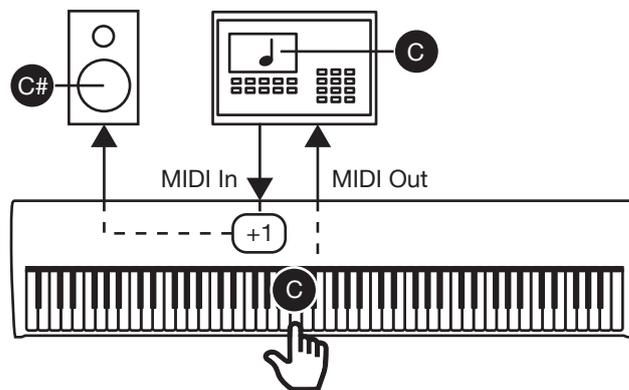
本機の各バンクにメモリーされている50個のプログラムは、プログラム・チェンジ・メッセージの値0~49に対応しています。50以上の値は無効となります。ライブ・モードの場合は、プログラム・チェンジ・メッセージの値0~4が5個のライブ・メモリーに対応します。

- ❶ Nord Piano 3から送信されるプログラム・チェンジ・メッセージには、バンク・セレクトMSBメッセージ(CC#0)の値0、バンク・セレクトLSBメッセージ(CC#32)とバンク・ナンバー(0~3)、プログラム・チェンジ・メッセージの値0~49が含まれます。

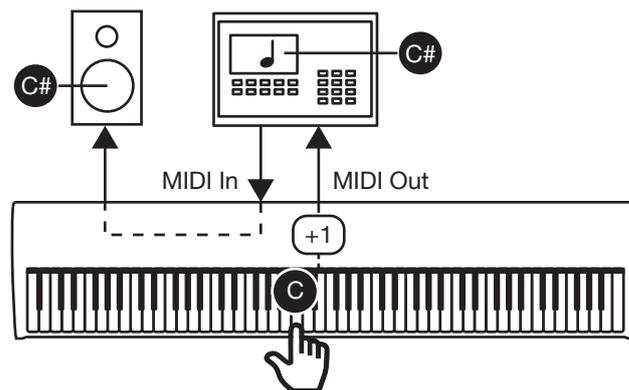
### MIDIとトランスポーズについて

Nord Piano 3で設定したトランスポーズは、フロントパネルでトランスポーズ機能を使用している場合、またはMIDIメニューでグローバルトランスポーズを使用している場合とで、MIDIメニューの「Transpose MIDI at」パラメーターの設定により送受信時の反応が変わります。設定方法は15ページをご参照ください。「Transpose MIDI at」を「MIDI In」に設定した場合、トランスポーズの設定は本機から送信されるMIDIノート・メッセージには反映されませんが、受信するメッセージはトランスポーズされます。このパラメーターを「MIDI Out」に設定した場合は、受信するMIDIノート・メッセージはトランスポーズされ、送信するメッセージはトランスポーズされません。

下図は、Nord Piano 3でシーケンサー(またはコンピュータ)にMIDIデータをレコーディング/プレイバックした場合の「Transpose MIDI at」の設定による変化をまとめたものです。どちらの場合でも、スピーカーから出ている音程は同じですが、シーケンサーにレコーディングされているMIDIノートは、設定により異なっていると注目してください。



トランスポーズが「+1」、Transpose MIDI atが「MIDI In」の場合



トランスポーズが「+1」、Transpose MIDI atが「MIDI Out」の場合

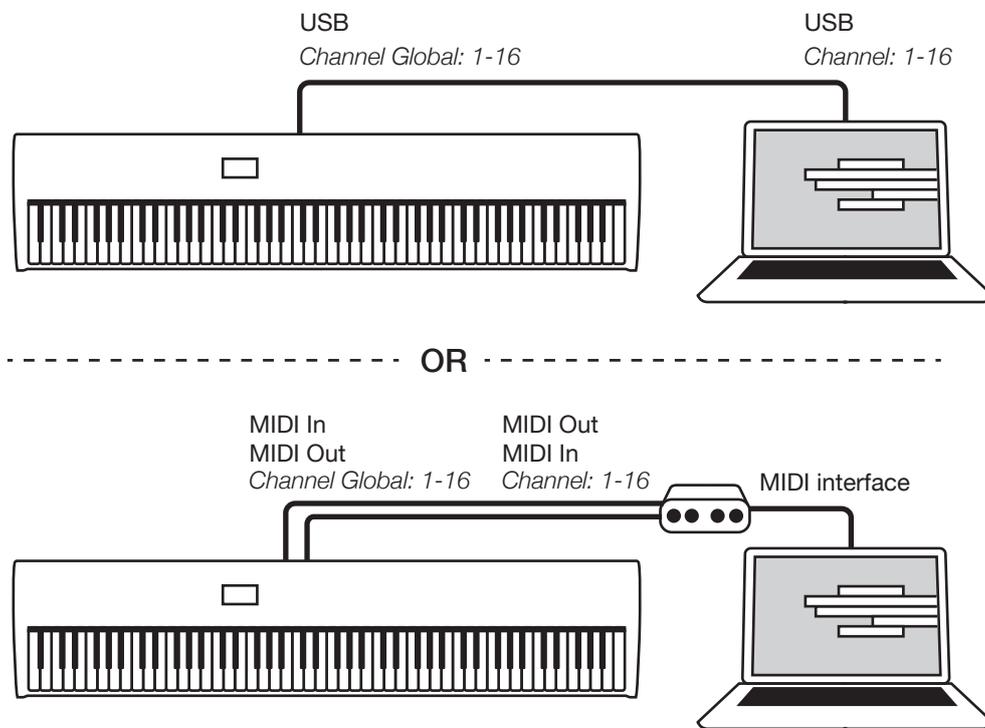
## Nord Piano 3とシーケンサーについて

Nord Piano 3をシーケンサーやDAW、楽譜ソフトウェアなどにUSBまたはMIDIで接続してMIDIデータをレコーディングしたり、MIDIデータをNord Piano 3に送信してプレイバックすることができます。このための一般的な手順は次の通りです：

- ① オーディオの接続が完了して、正しく音が出ている状態であることを確かめください。
- ② Nord Piano 3とコンピュータの空いているUSBポートをUSBケーブルで接続します。他にUSB-MIDIインターフェイスを介してMIDIケーブルで接続することもできます。MIDIインターフェイスを使用する場合、インターフェイスのMIDIアウトをNord Piano 3のMIDIインに、Nord Piano 3のMIDIアウトをインターフェイスのMIDIインに接続してください。
- ③ 音が二重になってしまうのを防ぐために、Nord Piano 3のMIDIメニューでローカル・コントロール・モード(Local Control Mode)を「Off」にセットするか、DAWやシーケンサーのソフト・スルー(またはMIDIエコー・モード)をオフに設定します。

- ④ Nord Piano 3のMIDIデータをレコーディングするDAWやシーケンサーなどのソフトウェアを立ち上げます。MIDIトラックの作成やMIDIデータのレコーディング、プレイバック方法につきましては、お使いのソフトウェアの説明書などをご覧ください。
- ⑤ コンピュータ側でNord Piano 3 MIDIドライバーが選択されていない場合、MIDIデータのレコーディング、プレイバックができるように設定をします。また、MIDIケーブルで接続している場合は、MIDIインターフェイスのドライバー設定が必要になることがあります。
- ⑥ ソフトウェアのMIDIトラックのMIDIチャンネルと、Nord Piano 3のMIDIチャンネル(Channel Global)を同じチャンネルに設定します(MIDIメニュー)。

△ Nord Piano 3のトリプル・センサーやバーチャル・ハンマー・アクション・テクノロジーの一部はMIDIプロトコルに対応していないため、奏法によっては送信するMIDIメッセージに正確に反映されない場合があります。実際の演奏とレコーディングしているMIDIデータが一致しているかどうかをチェックするため、ローカル・コントロール・モードはオフに設定してください。



Nord Piano 3とシーケンサー、DAWなどとのUSB/MIDI接続

## 5. メニュー

グローバル、システム、MIDIの各種設定、ピアノ・セクションのサウンド設定、サステインやコントロール/ボリューム・ペダル関連の各種設定はそれぞれ **SYSTEM**、**MIDI**、**SOUND**、**PEDAL**の各メニューで行います。各メニュー内の設定項目は〔PROG/MENU〕ダイヤルでブラウズでき、各種設定内容は〔VALUE〕ボタンを押しながら〔PROG/MENU〕ダイヤルを回して変更できます。



MIDIメニューのローカル・コントロール・モード(Local Control Mode)以外の各種メニュー項目を変更すると、変更内容が自動的に保存されます。ローカル・コントロール・モードは、Nord Piano 3の電源を入れるたびに必ずオンになります。

### SYSTEMメニュー

- 1 - MEMORY PROTECTION** : 誤ってプログラムを上書きしたり、意図せぬ操作でオーガナイズ機能を使ってプログラムを失うことがないように、工場出荷時にはこの機能は「On」にセットされています。  
この設定を「Off」にすると、プログラムの保存やオーガナイズ機能が使用できます。デフォルト設定は「On」です。
- 2 - GLOBAL TRANSPOSE** : 本機のトランスポーズを±6半音の範囲で設定できます。デフォルト設定は「0」です。
- 3 - FINE TUNE** : 本機のチューニングを±50セントの範囲で調節できます。デフォルト設定は「0」で、この時のA4のピッチは440Hzです。
- 4 - OUTPUT ROUTING MODE** : リアパネルのアウトプット端子の使用法を設定します。「Stereo」の場合、ピアノとサンプル・シンセはL/R両方のアウトプットから出力されます(ステレオ出力)。「Piano : L, Synth : R」の場合、ピアノは〔LEFT OUT〕端子から、サンプル・シンセは〔RIGHT OUT〕端子から出力され、それぞれはモノになります。デフォルト設定は「Stereo」です。

△ 「Piano : L, Synth : R」にセットしている状態でEQを使用した場合、ピアノとサンプル・シンセがミックスされて〔LEFT OUT〕端子から出力されます。これは、EQの前段で両方の音をミックスしているためです。

### MIDIメニュー

- 1 - LOCAL CONTROL MODE** : Nord Piano 3の電源投入時には必ず「On」リセットされますが、手動で「Off」にできます。  
「On」の場合、キーボードとパネル上のコントロール類の操作は本体の音源部のコントロールに使用でき、各種パラメーターとダイレクトに接続されます。「Off」の場合は、キーボードとパネル上のコントロール類の操作はMIDIメッセージとしてのみ出力され、本体内の音源部はコントロールできません。デフォルト設定は「On」です。  
「Off」が望ましいケースにつきましては、14ページをご参照ください。
- 2 - CHANNEL GLOBAL** : 本機のMIDIメッセージ送受信チャンネルを設定します。設定可能なチャンネルは「1」～「16」と「Off」です。デフォルト設定は「1」です。
- 3 - CONTROL CHANGE MODE** : MIDI CC(コントロール・チェンジ)メッセージの取扱いを設定します。設定値には「Off」(送受信しない)、「Send」(送信のみ)、「Receive」(受信のみ)、「Send/Receive」(送受信する)があります。デフォルト設定は「Send/Receive」です。
- 4 - PROGRAM CHANGE MODE** : プログラム・チェンジ・メッセージの取扱いを設定します。設定値には「Off」(送受信しない)、「Send」(送信のみ)、「Receive」(受信のみ)、「Send/Receive」(送受信する)があります。デフォルト設定は「Send/Receive」です。

- 5 - TRANSPOSE MIDI AT** : 設定値には「MIDI IN」と「MIDI OUT」があります。

「MIDI IN」にセットした場合、トランスポーズの設定(グローバル、プログラムどちらで設定していても)はMIDI出力には反映されませんが、入力したMIDIデータ(ノート・メッセージ)はトランスポーズされます。

「MIDI OUT」にセットした場合は、トランスポーズの設定がMIDI出力に反映されますが、入力したMIDIデータはトランスポーズされません。デフォルト設定は「MIDI IN」です。

### SOUNDメニュー

- 1 - PIANO PEDAL NOISE LEVEL** : ペダル・ノイズの音量を±6dBの範囲で設定します。デフォルト設定は「0dB」です。
- 2 - PIANO STRING RES LEVEL** : スtring・レゾナンスの音量を±6dBの範囲で設定します。デフォルト設定は「0dB」です。

### PEDALメニュー

- 1 - SUSTAIN PEDAL TYPE** : 本機に接続するサステイン・ペダルの極性やタイプによって設定します。設定値には「Auto」、「Closed」、「Open」、「Triple」があります。「Triple」はNord Triple Pedal専用の設定です。「Auto」に設定し、本機の電源投入前にペダルが接続されていた場合、ペダルの極性などを自動検知します。デフォルト設定は「Auto」です。
- 2 - MIDDLE PEDAL MODE** : Nord Triple Pedalのセンター・ペダルにどの機能を割り当てるかを設定します。設定値には「Sostenuto」(ソステヌート)、「Synth Sustain」、「Synth Sustain+Latch」があります。  
「Synth Sustain」の場合、センター・ペダルをサンプル・シンセ・セクション用のサステイン・ペダルとして使用できます。「Synth Sustain+Latch」の場合、センター・ペダルを踏むとその時弾いていたサンプル・シンセの音のみにサステインがかかり、その後のキーボード演奏はサンプル・シンセでは発音されず、ピアノ・セクションは発音します。デフォルト設定は「Sostenuto」です。
- 3 - VOLUME PEDAL TYPE** : 本機に接続するボリューム/エクスプレッション・ペダルに合わせて設定します。設定値には「Yamaha FC7」、「Roland EV7」、「Korg EXP2」、「Korg XVP10」、「Boss FV500L」、「Fatar SL」があります。デフォルト設定は「Roland EV7」です。
- 4 - VOLUME PEDAL GAIN** : 接続したボリューム/エクスプレッション・ペダルでコントロールしたいパラメーターの全可変域をカバーできない場合に、ペダルからの信号をブーストでき、「1」～「10」の範囲で設定できます。デフォルト設定は「1」です。

💡 ボリューム/エクスプレッション・ペダルを接続した状態で、この設定項目を開くと、その時のペダルの位置がディスプレイにパーセンテージ(0~100%)で表示されます。この時にペダルを操作して0~100%操作ができるかどうかをチェックできます。

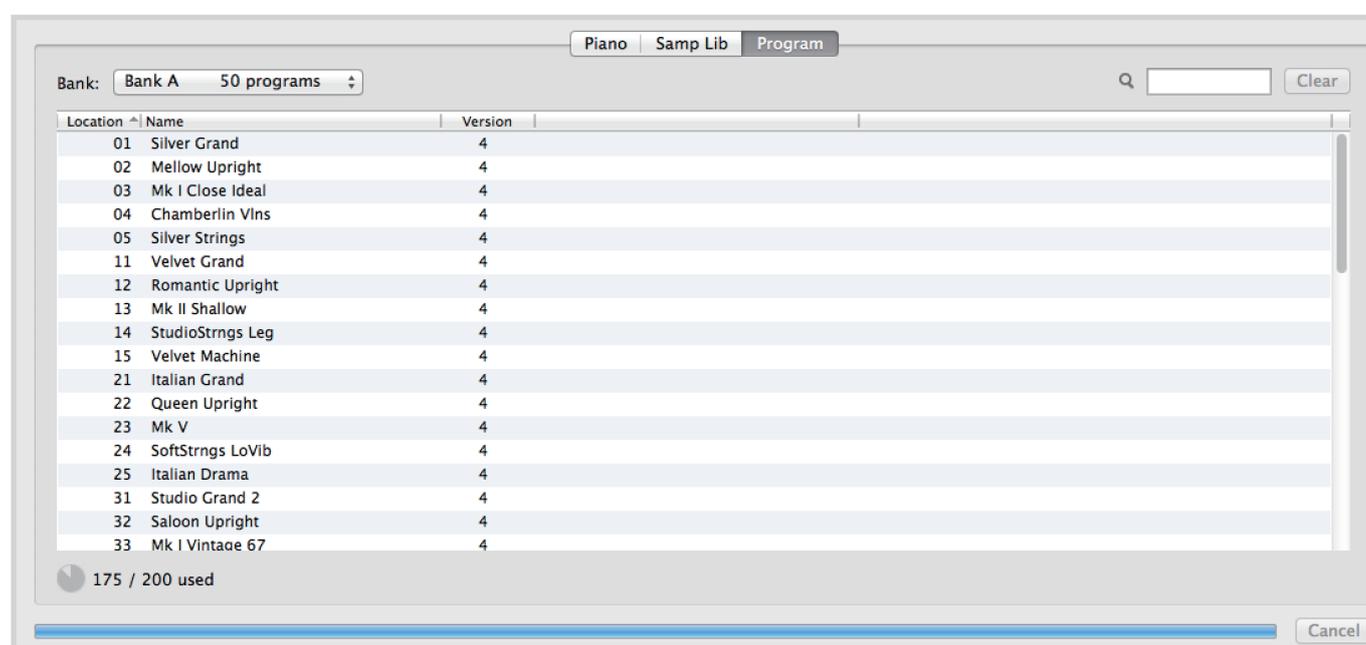
## 6. NORD SOUND MANAGER

Nord Sound Managerは、Nord Piano 3とコンピュータとの間でメモリー内容(プログラムやピアノ・サウンド、サンプルなどのデータ)のやり取りやデータの並べ替え、Nord Piano 3のデータ・バックアップを行う際に使用するソフトウェアです。このチャプターでは、Nord Sound Managerの主な機能の使用法などをご紹介します。

### 動作環境

Nord Sound Manager、Nord Sample Editorは、Mac OS X 10.6以降のOSをインストールしたMacと、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 10をインストールしたPC上で動作します。

### オーバービュー



Nord Sound Managerのメイン・エリアは上図のようなリストです。このリストはタブを切り替えることで「Piano」、「Samp Lib」、「Program」の3つのリストを表示します。その各リストに表示される内容が、Nord Piano 3の各メモリー・パーティションの内容です。リストの上にはバンクを選択するドロップダウン・メニューがあり、画面下部にはパーティション・メモリー・インジケーターがあり、各パーティションのメモリー使用状況を表示します。



アプリケーションの画面最上部にはツールバーが表示され、よく使う機能にすぐにアクセスできます。ツールバー内のアイコンがグレー表示になっているものは、その時に選択しているパーティションでは使用できない機能です。ツールバーの各種機能は、画面最上部の各種メニューからも色々な方法でアクセスできます。

### インストールする

最初にNordウェブサイトからNord Sound Managerの最新版をダウンロードします。また、本ソフトウェアのインストール・ファイルは本機の付属のDVDにも収録されています。

**Windows** : 「Nord Sound Manager v6.XX Setup.exe」ファイルをダブルクリックし、表示される指示にしたがってインストール作業を進めます。インストールが完了すると、アプリケーションはスタート・メニューからアクセスできます。

**Mac OS X** : 「Nord Sound Manager v6.XX.dmg」をダブルクリックし、Nord Sound Managerアプリケーションを仮想ハードディスクからお使いのMacのアプリケーション・フォルダにドラッグします。

## プログラムやサンプルをダウンロードする

Nord Piano LibraryとNord Sample Library 2.0の各種サウンドは、Nordウェブサイトから無償でダウンロードできます。

### ピアノ・サウンドをダウンロードする

NordウェブサイトのNord Piano Libraryには豊富な種類のピアノやキーボード楽器のサウンド・データを収録しています。ピアノ・サウンドをNord Piano 3にダウンロードする手順は次の通りです：

- ① Nord Piano Libraryで使用したいピアノ・サウンドを見つけます。
- ② 使用したいピアノ・サウンドとそのサイズのダウンロード・リンクをクリックすると、**.npno**ファイルのダウンロードが始まります。
- ③ Nord Piano 3とコンピュータをUSBケーブルで接続し、Nord Sound Managerを起動します。
- ④ Nord Sound ManagerのPianoタブを選択し、ダウンロードした**.npno**ファイルをリスト・エリアにドラッグ&ドロップします。すると、ピアノ・サウンドがNord Piano 3に自動的にダウンロード(コンピュータからNord Piano 3に転送)されます。他にも、Sound Downボタンをクリックしてダイアログを開き、転送したいサウンド・ファイルを選択してから転送することもできます。

Bank	Loc	Name	Size	Ver	N
Grand	1	Italian Grand Faz XL 5.3	182.1 MB	5.30	
Grand	2	Studio Grand 2 YaC7 Lrg 5.3	68.9 MB	5.30	
Grand	3	Bright Grand YaS4 Med 5.3	72.6 MB	5.30	
Grand	4	Grand Lady D Stw D Lrg 5.3	78.6 MB	5.30	
Grand	5	Electric Grand 1 CP80 5.3.npno	62.9 MB	5.30	
Upright	1	Grand Upright YaU3 Lrg 5.4	85.6 MB	5.40	
Upright	2	Black Upright Petrof Med 5.3	51.6 MB	5.30	
Upright	3	Queen Upright Bdorf Med 5.3	51.6 MB	5.30	

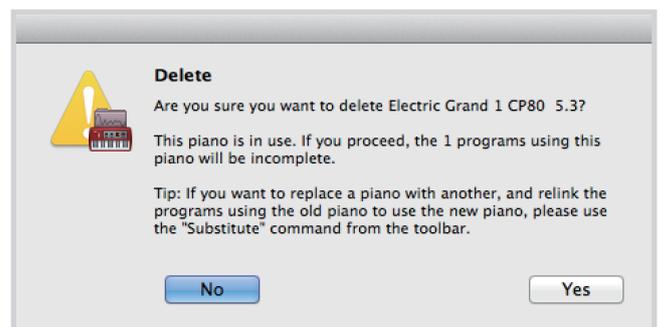
### サンプル・シンセ用サンプルをダウンロードする

サンプル・シンセ用のサンプルは、NordウェブサイトのNord Sample Library 2.0からダウンロードできます。

- ① Nord Sample Library 2.0から使用したいサンプルを見つけます。
- ② 使用したいカテゴリーの全**.nsmp**ファイルを含んだ**.zip**アーカイブを選択するか、サンプル単体を選択します。
- ③ アーカイブ・ファイルを解凍し、使用したいサンプル(複数選択可)をNord Sound Managerの**Samp Lib**タブのリスト・エリアにドラッグ&ドロップします。または、Sound Downボタンをクリックしてダイアログを開き、転送したいサンプルを選択してから転送することもできます。

### サウンドやサンプルを削除する

PianoやSamp Libパーティションがメモリー上限に達した場合、新たにサウンドやサンプルを入れるには、事前に他のサウンドやサンプルを削除する必要があります。削除したいサウンドやサンプルが入っているタブを選択し、削除するサウンドやサンプルを選択して、ツールバーの**Delete**アイコンをクリックします。するとダイアログが表示され、本当に削除しても良いかどうかを確認できます。



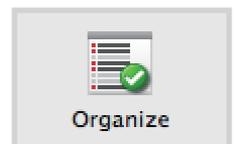
### サウンドやサンプルを入れ替える

ピアノ・サウンドやサンプルは他のものと入れ替えることができます。例えば、プログラムの設定等はそのままにしておき、別のサイズのピアノや、別のバージョンのサンプルを試してみたい時に便利です。PianoまたはSamp Libのリストから入れ替えたいピアノやサンプルを選択し、**Substitute**ボタンをクリックします。すると入れ替えたいピアノやサンプルを選ぶダイアログが開きます。このダイアログで入れ替えたいピアノ(**.npno**)またはサンプル(**.nsmp**)を選択し、ダイアログ内のSubstituteボタンをクリックします。

### オーガナイズ機能

Nord Piano 3のピアノ・サウンドやサンプル、またはプログラムの並び替えをするには、**Organize**モードをオンしておく必要があります。ツールバーのOrganizeボタンをクリックすると、緑色のチェックマークが表示され、オーガナイズ機能がオンになったことを表示します。また、その時に開いているタブ(リスト)にグリッドが表示されます。

オーガナイズ機能で最もベーシックな操作は、2つのデータの位置を入れ替えることです。この操作は、移動させたいデータをクリックして場所を入れ替えたいデータの上、または入れ替えたい位置にドラッグ&ドロップすることで行えます。複数のデータを一度に移動させる場合は、複数のデータを1つの場所に重ねてドラッグ&ドロップすることはできませんので、リストに十分な空きスペースがないと行えません。



## プログラムをアップロードする

Nord Piano 3のプログラムをバックアップのためにコンピュータにアップロードすることができます。この場合、プログラム1つずつの`.np3p`ファイル、または複数のプログラムとそれぞれで使用するサウンドやサンプルをバンドルした(まとめた)`.np3b`ファイルでアップロードできます。

## サウンド・アップとサウンド・ダウン



プログラムやピアノ、サンプルをリストから1つずつ単体のファイルとしてアップロードする場合は、ツールバーの**Sound Up**をクリックします。するとダイアログが開き、その時選択していたデータ(プログラム、ピアノ、またはサンプル)をアップロードするか、バンク全体をアップロードするかの選択と、コンピュータのどのフォルダにアップロードするかを指定できます。

コンピュータからNord Piano 3にプログラムやピアノ、サンプルをダウンロードする場合は、そのデータのタブ(Program、Piano、またはSamp Lib)を開き、ツールバーの**Sound Down**をクリックします。するとダイアログが開き、ソース(**source**)エリアにはダウンロードしたいファイルまたはフォルダを選択する画面が表示されます。デスティネーション(**destination**)エリアでは、その時に選択しているバンクにダウンロードするファイルを追加するか、バンク全体の内容を入れ替えるかを選択します。

## バンドル・アップロードとバンドル・ダウン



バンドル・ファイルとしてコンピュータにアップロードする場合は、プログラムを選択(複数選択可)してツールバーの**Bundle Upload**をクリックします。するとダイアログが開き、選択したプログラムまたは全プログラム・バンクのデータのどちらかが選択できます。選択後、バンドル・ファイルをアップロードする場所を選択します。

バンドル・ファイルをコンピュータからNord Piano 3にダウンロードするには、Programタブを選択し、バンドル・ファイルをダウンロードするバンクをリストの上にあるドロップダウン・メニューで選択します。ツールバーの**Bundle Down**をクリックするとダイアログが開き、ダウンロードするバンドル・ファイルの場所を指定できます。ファイルを選択すると、Nord Sound Managerがそのファイルの内容(プログラムやサウンド)に問題がないかどうかチェックします。最後に、バンドル・ファイルをバンクに追加するか、バンク全体の内容を入れ替えるかを選択します。

## フル・バックアップとレストア



時々、Nord Piano 3のプログラム、ピアノ・サウンド、サンプルの全データをまとめて1つのバックアップ・ファイルとしてコンピュータに保存しておくことと不意の事故からの復旧に便利です。フル・バックアップを行うには、ツールバーの**Backup**ボタンをクリックします。するとダイアログが開き、バックアップ・ファイルを保存する場所の指定や、バックアップ・ファイルのリネームが行えます。ファイル名はデフォルト設定では「Backup YYYY-MM-DD.np3b」(Y/M/Dは年月日)です。**Save**をクリックするとバックアップ処理が始まります。この処理には多少時間がかかります。

バックアップ・ファイルをNord Piano 3にロード(レストア)するには、ツールバーの**Restore**をクリックします。レストアしたいバックアップ・ファイル(.np3b)を選択してOpenをクリックします。するとダイアログが開き、レストア処理を実行して良いかどうかを確認できます。そのダイアログにあるShow Detailボタンは、バックアップ・ファイルの内容を確認したい時に使用します。**Restore**をクリックするとレストア処理が始まります。

❗ バックアップ・ファイルにはプログラムやサウンド、サンプルなどのデータのみが含まれ、Nord Piano 3のOSなどのデータは含まれません。このため、フル・バックアップを行った後に本機のOSバージョンをアップデートし、バックアップ・ファイルをレストアしても、元のOSバージョンに戻ることはありません。

Nord Piano 3のデータを工場出荷時の状態に戻したい場合は、ファクトリー・レストア(Factory Restore)ファイルを使用します。このファイルはNordウェブサイトのNord Piano 3セクションからダウンロードできます。

## 付録 I: 接続する



### オーディオの接続

オーディオ接続の鉄則：アンプの電源を入れる前に、すべての接続をしましょう。電源を入れる時は、アンプを最後にします。電源を切る時は、最初にアンプから切ります。

#### {HEADPHONES} ジャック

1/4インチ(6.35mm)標準ステレオ・ジャックのヘッドフォン端子です。

#### {LEFT OUT}、{RIGHT OUT} ジャック

1/4インチ(6.35mm)標準フォーン・ジャック、ラインレベルのオーディオ出力で、アンプやレコーディング機器などと接続します。Nord Piano 3はステレオ出力が可能ですので、左右で独立したオーディオ信号を出力できます。

△ 過剰な大音量での使用は、難聴などの聴覚異常を引き起こす恐れがあります。音量には十分ご注意ください。

#### {MONITOR IN} ジャック

1/8インチ(3.5mm)ジャックのオーディオ入力です。スマートフォンやタブレット、コンピュータなどを接続し、録音済みの音楽やメトロノームなどに合わせて演奏できます。

❶ この端子からのオーディオ信号は、ヘッドフォン端子にのみ出力されます。

### MIDIの接続

#### {MIDI IN} コネクター

5ピンDINコネクターのMIDIイン端子です。コントローラー・キーボードやシーケンサー、コンピュータなどのMIDI機器からのMIDIメッセージを受信する際に使用します。

#### {MIDI OUT} コネクター

5ピンDINコネクターのMIDIアウト端子です。本機から外部の音源モジュールやコンピュータなどのMIDI機器にMIDIメッセージを送信する際に使用します。

### USBの接続

{USB} ポートはNord Piano 3とコンピュータを接続する際に使用します。MIDIメッセージの送受信や本機のOSアップデートを行う際や、Nord Sound ManagerやNord Sample Editorなどのアプリケーションを使用する際にUSB接続を行います。Nord Sound ManagerやNord Sample Editor、Nord Piano 3の最新OSは、Nordウェブサイトからダウンロードできます。

❶ MIDI-USB機能と5ピンMIDIコネクターは常に同時に機能していますので、接続時にどちらかの端子を選択するなどの操作は不要です。

### ペダルの接続

#### {SUSTAIN PEDAL} ジャック

1/4インチ(6.35mm)標準ジャックのサステイン・ペダル端子です。Nord Triple Pedalを含む、一般的なタイプのサステイン・ペダルに対応しています。サステイン・ペダルの極性は自動検出の他、システム・メニューで手動で設定することも可能です。詳しくは15ページをご参照ください。

💡 Nord Triple Pedalの各種機能につきましては、9ページをご参照ください。

#### {VOL/CTRL PEDAL} ジャック

1/4インチ(6.35mm)標準ジャックのエクスペッション・ペダル端子です。本機のボリュームやエフェクトをペダルで操作する際に使用します。一般的なエクスペッション・ペダルのほとんどに対応し、システム・メニューで選択できます。

❶ ペダル類を接続する際は、それぞれの端子(サステインまたはボリューム/コントロール)に適したペダルを接続してください。また、ピアノやサンプル・シンセ・セクションのコントロールをペダルで行う際にも、コントロールする内容に適したペダルをご使用ください。

## 付録 II : MIDIコントローラー・リスト

Nord Piano 3パラメーター	MIDI CCナンバー
<i>Bank Select MSB</i>	0
<i>Bank Select LSB</i>	32
Sustain	64
Sostenuto	66
Soft Pedal	67
Volume/Ctrl Pedal (Expression)	11
Piano Enable	46
Sample Synth Enable	55
Transpose Enable	15
KB Split Mode	14
KB Split Point	16
Transpose Value	17
Live Mode	48
Mono Mode	83
Piano Level	106
Piano Type	12
Piano Model	44
Piano Variation	45
Piano KBD Touch	47
Piano Acoustic	79
Piano Pedals	107
Piano Octave Shift	105
Sample Synth Level	51
Sample Select	52
Sample Synth Attack	53
Sample Synth Release	54
Sample Synth Dynamics	77
Sample Synth Octave Shift	56
Sample Synth Pedals	108

Nord Piano 3パラメーター	MIDI CCナンバー
Effect 1 Enable	69
Effect 1 Type	60
Effect 1 Rate	63
Effect 1 Source Select	70
Effect 1 Ctrl Pedal	72
Effect 2 Enable	80
Effect 2 Type	61
Effect 2 Rate	62
Effect 2 Source Select	71
Effect 2 Deep Mode	73
Amp/Comp Type	81
Amp/Comp Enable	86
Amp/Comp Drive	111
Amp/Comp Source Select	87
Delay Tempo	92
Delay Enable	84
Delay Dry/Wet	75
Delay Feedback	76
Delay Source Select	85
Reverb Type	96
Reverb Enable	97
Reverb Dry/Wet	102
Reverb Bright	98
EQ Treble	113
EQ Enable	115
EQ Mid	116
EQ Mid Frequency	117
EQ Bass	112
EQ Source Select	118

# インデックス

## 英数記号

.np3b 18  
 .np3p 18  
 .np3pb 18  
 .npno 17  
 .nsmp 17  
 ABC 7  
 Acoustics 8  
 Amp 10  
 Amp/Comp 12  
 DAW 14  
 Del 7  
 EP1 8  
 EP2 8  
 EQ 12  
 Info(ピアノ) 8  
 Info(サンプル) 10  
 Ins 7  
 JC 12  
 Mac OS X 16  
 MIDI 13  
 MIDIの接続 19  
 MIDIコントローラーリスト 20  
 MIDI In 19  
 MIDI LED 6  
 MIDIMenu 15  
 MIDI Out 19  
 Monitor In 19  
 Nord Piano Libraryサイズ別比較表 9  
 Nord Sound Manager 16  
 Nord Triple Pedal 9  
 Nordユーザーインターフェイス 4  
 On/Offボタン 5  
 OSアップデート 19  
 Pno/Synt 6  
 Progダイアル 6  
 RM 11  
 Samp Lib 16  
 Set Split 6  
 Set tempo 12  
 Shift 4  
 Small 12  
 Store As... 7  
 Substitute 17  
 Synt/Pno 6  
 Transpose MIDI at 13、15  
 Twin 12  
 USBの接続 19  
 USB-MIDI 19  
 Value 7  
 Windows 16

## ア行

アイコン 6  
 アウトプット 19  
 アウトプットルーティングモード 15  
 アスタリスク 6  
 アタック 10  
 アップライト 8  
 アイコライザー 12

インストール 16  
 ウナ・コルダ 9  
 エフェクト1 11  
 エフェクト2 11  
 エフェクト 11  
 オーガナイズ 8  
 オーガナイズ(Nord Sound Manager) 17  
 オーガナイズ(ピアノ) 9、11  
 オーディオの接続 19  
 オクターブ・アップ 8、10  
 オクターブ・ダウン 8、10

## カ行

キーボード 5  
 キーボードスプリット 6  
 キーボードタッチ 8  
 クラビネット 8  
 グランド 8  
 グランド・ウェイテッド・アクション 5  
 グローバル・トランスポーズ 15  
 コーラス 11  
 コントロール・チェンジ 13、20  
 コントロール・チェンジモード 15  
 コントロール・ペダル 11、19  
 コンピュータ 19  
 コンプレッサー 12

## サ行

サウンド・アップ 18  
 サウンド・ダウン 18  
 サウンド・メニュー 15  
 サステイン・ペダル 19  
 サンプル 17  
 サンプル・シンセ 10  
 シーケンサー 14  
 システム・メニュー 15  
 ステージ 12  
 スtring・レゾナンス 8  
 スプリット・ポイント 6  
 接続 19  
 セレクター・ボタン 4  
 ソース 11  
 ソース・ボタン 5  
 ソステヌート 9  
 ソフト・ペダル 9  
 ソフト・リリース 9

## タ行

ダイアル 5  
 ダイナミクス 10  
 タップ 12  
 タブ 16  
 チャンネル・グローバル 15  
 ツールバー 16  
 ディープ 11  
 ディストーション 12  
 ディレイ 12  
 デリート 17  
 テンポ 12  
 ドライ/ウェット 12

トランスポーズ 6、13  
 トランスポーズ(グローバル) 15  
 トランスポーズ(プログラム) 6  
 トリプル・センサー 5  
 トレブル 12  
 トレモロ 11

## ナ行

ノブ 5

## ハ行

パーティション 16  
 ハーフ・ペダリング 9  
 ハーフ・シコード 8  
 バックアップ 18  
 バニック 7  
 バン 11  
 バンドル・アップ 18  
 バンドル・ダウン 18  
 ピアノ・ストリング・レゾナンス 15  
 ピアノ・セクション 8  
 ピアノ・セレクト 8  
 ビブラート 11  
 ファイン・チューン 15  
 ファクトリー・レストア・ファイル 18  
 フィードバック 12  
 フィルター 10  
 フェイザー 11  
 ブライト 12  
 フランジャー 11  
 フリケンシー 12  
 プログラム 6  
 プログラム・バンク 6  
 プログラム・チェンジモード 15  
 フロントパネル 4  
 ベース 12  
 ペダル・ノイズ 9  
 ペダルの接続 19  
 ペダル 8  
 ヘッドフォン 19  
 別名で保存 7  
 ホール 12  
 保存する 7

## マ行

ミッド 12  
 緑LED 6  
 メニュー 15  
 メモリー(ピアノ) 9  
 メモリー(サンプル・シンセ) 10  
 メモリー・インジケーター 16  
 メモリー・プロテクション 6、15  
 モノ 6

## ラ行

ライブ・プログラム 7  
 ライブ・モード 7  
 リバーブ 12  
 リリース 10  
 リング・モジュレーター 11  
 ルーム 12

レイト 11  
 レストア 18  
 レベル 8、10  
 ローカル・コントロール・モード 15

## ワ行

ワウ 11

## 仕様

### 全体

- OLED(有機LED)ディスプレイ
- 200プログラム(50プログラム×4バンク)
- オーガナイズ機能(プログラム)
- ライブ・モード: ライブ・プログラム×5
- グローバルトランスポーズ: ±6半音
- プログラムトランスポーズ: ±6半音
- ファイン・チューン: ±50セント
- キーボード・タッチ: ペロシティ・レスポンス・カーブ(4種類)
- トリプル・センサー・キーボード+バーチャル・ハンマー・アクション・テクノロジー
- キーボード・スプリット: 選択式スプリット・ポイント(LED付き)
- レイヤー機能
- モノ・アウトプット機能
- ダイナミック・サステイン・ペダル(付属Nord Triple Pedal)
- USB-MIDI機能
- 無償OSアップデート

### ピアノ・セクション

- ピアノ・タイプ: 6種類(グランド、アップライト、エレクトリック・ピアノ1、エレクトリック・ピアノ2、クラビネット、ハーブシコード)
- 各カテゴリーにつき最大9種類のモデルを内蔵
- オーガナイズ機能(ピアノ・サウンド波形)
- 同時発音数: 40/60(ステレオ/モノ)
- アドバンスド・ストリング・レゾナンス(第2世代): 音量調節可能
- ソフト・リリース: 選択式(グランド、アップライト、エレクトリック・ピアノ、ハーブシコード)
- ペダル・ノイズ: 選択式(グランド、アップライト、エレクトリック・ピアノ)、音量調節可能
- オクターブトランスポーズ: ±1オクターブ

### サンプル・シンセ・セクション

- 同時発音数: 15
- オーガナイズ機能(サンプル波形)
- アンブ・エンベロープ: アタック、ディケイ/リリース
- ペロシティ・センス: 選択式(フィルター、アンブ)
- オクターブトランスポーズ: ±3オクターブ
- ソステヌート・ペダルをサンプル・シンセ・セクション用のサステインまたはラッチ・ペダルとして使用可能(Nord Triple Pedal)
- ボリューム・コントロール機能: ボリューム/エクスプレッション・ペダル(別売)でコントロール可能

### メモリー

- Nord Piano Library(ピアノ): 約1GB
- Nord Sample Library 2.0(サンプル・シンセ): 約256MB

### エフェクト・セクション

#### エフェクト1

- パン、トレモロ、ワウ、リング・モジュレーター
- デプス: 3段階(パン、トレモロ)
- レイト・コントロール

- コントロール・ペダル: トレモロ、パン、リング・モジュレーター、ワウをペダルでコントロール可能

#### エフェクト2

- フェイザー1、フェイザー2、フランジャー、コーラス1、コーラス2、ピブラート
- 各エフェクトにつき2段階のデプス設定が可能

#### アンブ・シミュレーション、コンプレッサー、EQ

- コンプレッサー/アンブ: 3種類のアンブ/スピーカー・シミュレーション、チューブ・オーバードライブ
- ドライブ・ノブでドライブ/コンプレッション量の調節が可能
- EQ: 3バンド(ミッドは中心周波数可変式)、±15dB

#### マスター・エフェクト

- リバース: ルーム、ステージ、ホール(各タイプともブライต์・モード付き)
- デイレイ: テンポ(ディレイ・タイム)、ドライ/ウェット、タップ・テンポ

### 接続端子

- オーディオ出力: LEFT, RIGHT(6.35mm標準フォーン・ジャック)
- モニター入力: 3.5mmミニステレオ・ジャック
- ヘッドフォン出力: 6.35mm標準ステレオ・ジャック
- サステイン・ペダル入力: 6.35mm標準フォーン・ジャック(付属のNord Triple PedalまたはコルグDS-1Hなどのモーメンタリー・タイプのペダルをご使用ください)
- ボリューム・ペダル入力: 6.35mm TRSジャック(コルグEXP-2、XVP-10などのエクスプレッション・ペダルをご使用ください)
- MIDI入力、出力: 5ピンDINコネクター
- USB: タイプBコネクター、サウンド・データ(波形データ)およびUSB-MIDI
- 電源コネクター: IEC C14

### 外形寸法

- Nord Piano 3: 1,287 (W) x 340 (D) x 121 (H) mm
- Nord Triple Pedal: 264 (W) x 224 (D) x 70 (H) mm

### 重量

- Nord Piano 3: 18.2kg
- Nord Triple Pedal: 2kg

### 付属品

- Nord Triple Pedal
- 電源コード
- Nord Piano Library v5 DVD-ROM
- Nord Sample Library 2.0 DVD-ROM

### オプション(別売)

- Nord Keyboard Stand EX
- Nord Soft Case
- Nord Music Stand

仕様は予告なく変更することがあります。

本書に記載のブランド名、製品名および規格名はそれぞれ各保有者の商標または登録商標です。これらのブランド名、製品名および規格名は、本機のサウンドや機能を説明するためにのみ使用しています。



